

第4期 決算速報

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

会社名(定款上の商号)	コマップ株式会社
英文名(英文商号)	Comap, Inc
コード番号	2407
代表者の役職氏名	代表取締役社長 近藤 環
本店の所在の場所	福岡県福岡市中央区今泉1丁目12番23号
電話番号	092-738-1600
連絡者	代表取締役社長 近藤 環

四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位:千円)

科目	期別	第3期 〔自平成15年4月1日 至平成16年3月31日〕		第4期 〔自平成16年4月1日 至平成17年3月31日〕	
		金額	百分比	金額	百分比
(経常損益の部)					
営業損益の部					
営業収益		296,791	100.0	342,098	100.0
売上高		296,791	100.0	342,098	100.0
営業費用		239,031	80.5	246,709	72.1
売上原価		239,031	80.5	246,709	72.1
販売費及び一般管理費		56,667	19.1	84,121	24.6
営業利益		1,091	0.4	11,267	3.3
営業外損益の部					
営業外収益		2,921	0.9	1,714	0.5
営業外費用		1,877	0.6	5,709	1.7
経常利益		2,135	0.7	7,272	2.1
(特別損益の部)					
特別利益					
特別損失		149	0.0		
税引前当期純利益		1,986	0.7	7,272	2.1
法人税、住民税及び事業税		854	0.3	973	0.3
法人税等還付額				648	0.2
当期純利益		1,131	0.4	6,947	2.0
前期繰越損失		27,400		26,269	
当期末処分損失		26,269		19,322	

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	期別	第3期 〔自平成15年4月1日 至平成16年3月31日〕		第4期 〔自平成16年4月1日 至平成17年3月31日〕	
		金額	百分比	金額	百分比
期中平均株式数		1,650株		2,123株	
1株当たり当期純利益		685円69銭		3,271円26銭	
潜在株式調整後1株当たり当期純利益					

(2) 事業別売上高

(単位：千円)

事業の種類	第3期 〔自平成15年4月1日 至平成16年3月31日〕		第4期 〔自平成16年4月1日 至平成17年3月31日〕	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
出版事業	83,486	28.1	146,390	42.8
モバイルマーケティング事業	127,293	42.9	154,811	45.2
PIT事業	86,012	29.0	40,896	12.0
合計	296,791	100.0	342,098	100.0

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(3)貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	第 3 期 (平成 16 年 3 月 31 日現在)		第 4 期 (平成 17 年 3 月 31 日現在)	
		金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)			%		%
流動資産					
1. 現金及び預金		3,187		26,492	
2. 売掛金		92,735		108,856	
3. 仕掛品		4,832		35,011	
4. 前渡金				6,800	
5. 前払費用		687		1,158	
6. 短期貸付金		20,000		15,200	
7. 未収入金		2,000			
8. 未収消費税等				1,328	
9. 立替金		3,241		766	
10. その他		379		424	
11. 貸倒引当金		711		1,531	
流動資産合計		126,352	71.3	194,506	61.9
固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 工具器具備品		3,723		2,434	
有形固定資産合計		3,723	2.1	2,434	0.8
2. 無形固定資産					
(1) ソフトウェア		29,771		53,648	
(2) ソフトウェア仮勘定				22,500	
(3) 営業権		7,720		26,717	
無形固定資産合計		37,492	21.2	102,865	32.7
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券		1,500		3,500	
(2) 敷金		4,155		4,523	
(3) 長期前払費用		3,412		2,374	
投資その他の資産合計		9,067	5.1	10,398	3.3
固定資産合計		50,282	28.4	115,697	36.8
繰延資産					
1. 創立費		196		98	
2. 新株発行費		283		3,912	
繰延資産合計		480	0.3	4,010	1.3
資産合計		177,115	100.0	314,214	100.0

(単位：千円)

期 別 科 目	第 3 期 (平成 16 年 3 月 31 日現在)		第 4 期 (平成 17 年 3 月 31 日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)		%		%
流 動 負 債				
1. 買 掛 金	42,825		51,821	
2. 短 期 借 入 金	16,400		28,366	
3. 1 年以内返済予定長期借入金	15,324		25,223	
4. 未 払 金	10,398		13,013	
5. 未 払 法 人 税 等	564		973	
6. 未 払 消 費 税	1,782			
7. 預 り 金	6,324		5,071	
8. 賞 与 引 当 金	500		1,025	
9. そ の 他	128		73	
11.				
12.				
13.				
流 動 負 債 合 計	94,246	53.2	125,568	40.0
固 定 負 債				
1. 長 期 借 入 金	24,138		23,069	
2.				
3.				
4.				
固 定 負 債 合 計	24,138	13.6	23,069	7.3
負 債 合 計	118,384	66.8	148,637	47.3
(資本の部)				
資 本 金	57,500	32.5	107,450	34.2
資 本 剰 余 金				
1. 資 本 準 備 金	27,500	15.5	77,450	24.7
利 益 剰 余 金				
1. 利 益 準 備 金				
2. 当 期 未 処 理 損 失	26,269		19,322	
利 益 剰 余 金 合 計	26,269	14.8	19,322	6.2
資 本 合 計	58,730	33.2	165,577	52.7
負 債 ・ 資 本 合 計	177,115	100.0	314,214	100.0

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 科 目	第 3 期 (平成 16 年 3 月 31 日現在)	第 4 期 (平成 17 年 3 月 31 日現在)
発 行 済 株 式 数	1,700 株	2,699 株
1 株 当 たり 純 資 産 額	34,547 円 36 銭	61,347 円 82 銭

(4) 重要な会計方針

期 別 項 目	第 3 期 〔 自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 16 年 3 月 31 日 〕	第 4 期 〔 自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 3 月 31 日 〕
1. 有価証券の評価基準および 評価方法	その他有価証券 時価のないもの 移動平均法による原価法を採 用しております。	同 左
2. たな卸資産の評価基準およ び評価方法	仕掛品 個別法による原価法を採用し ております。	同 左
3. 固定資産の減価償却の方法 (1)有形固定資産 (2)無形固定資産 (3)長期前払費用	(1)定率法によっております。 (2)定額法によっております。 なお、ソフトウェアについては、 社内における利用可能期間(5 年) に基づく定額法によっておりま す。 (3)定額法によっております。	同 左
4. 繰延資産の処理方法 (1)創 立 費 (2)新株発行費	(1) 商法施行規則の規定に基づ く最長期間(5 年)で均等償却 しております。 (2) 商法施行規則の規定に基づ く最長期間(3 年)で均等償却 しております。	同 左
4. 引当金の計上基準 (1)貸倒引当金 (2)賞与引当金	(1)債権の貸倒れによる損失に備 えるため、一般債権については、 貸倒実績率により、貸倒懸念債権 等特定の債権については個別に 回収不能見込み額を計上してお ります。 (2)従業員の賞与の支給に備える ため、賞与支給見込額のうち当期 の負担すべき金額を計上してお ります。	同 左
6. 消費税等の会計処理	税抜方式によっております。	同 左

(5) 会計方針の変更

該当事項はありません。

第4期（平成16年4月1日～平成17年3月31日）の業績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、中国をはじめとするアジア経済が好調で輸出が拡大し、鉄鋼大手を中心とした企業の業績回復から設備投資も堅調に推移いたしました。また、雇用、賃金についても改善の兆しが見られました。しかしながら、期末にかけて海外経済の鈍化による輸出の減速や、電子部品の在庫調整などによる生産の鈍化に先行きの不透明感が残り、公的年金保険の負担率の上昇など将来に対する不安要因は拭えず、消費者心理が好転するまでには至っておりません。

このような状況の中、当社は当初の事業計画に基づき、積極的な営業活動による強力な企画提案を継続してまいりました。

出版事業部門におきましては、子育て情報誌「はっぴーママ福岡版」「Happy Angel」並びに大手携帯事業者からのモバイルメディアとのメディアミックス型受託出版事業が好調で、売上高146,390千円（前期比75.3%増）となりました。

また、モバイルマーケティング事業部門におきましては、昨年に引き続いて大手通信業者の回線事業に関する販促サポート業務が好調で、売上高154,811千円（前期比21.6%増）となりました。

一方、PIT事業におきましては、新規企画の受注案件は着実に増えたものの前年度に実施した「阪神タイガース胸上げポスター」のような大型企画案件に取組むことが出来ずに、売上高40,896千円（前期比52.4%減）となりました。

以上の結果、売上高342,098千円（前期比15.3%増）、営業利益11,267千円（前期比932.7%増）、経常利益7,272千円（前期比240.6%増）、当期純利益6,947千円（前期比514.2%増）となりました。

第5期通期の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

科目	期別	第4期（速報値）	第5期
		〔自平成16年4月1日 至平成17年3月31日〕	〔自平成17年4月1日 至平成18年3月31日〕
売上高		342,098	638,400
営業利益		11,267	70,438
経常利益		7,272	68,618
当期純利益		6,947	41,216

資金及び借入金の状況

(1)現金及び預金の増減

（単位：千円）

科目	期別	第3期	第4期
		〔自平成15年4月1日 至平成16年3月31日〕	〔自平成16年4月1日 至平成17年3月31日〕
現金及び預金の増減額		7,355	23,305
現金及び預金の期首残高		10,542	3,187
現金及び預金の期末残高		3,187	26,492

（主な増減理由）

普通預金の増加によるものであります。

(2)短期借入金の増減

(単位：千円)

期 別 科 目	第3期	第4期
	〔 自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日 〕	〔 自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日 〕
短期借入金の増減額	15,900	11,966
短期借入金の期首残高	500	16,400
短期借入金の期末残高	16,400	28,366

(主な増減理由)

銀行借入により、増加いたしました。

(3)長期借入金の増減(1年内返済予定長期借入金を含む)

(単位：千円)

期 別 科 目	第3期	第4期
	〔 自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日 〕	〔 自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日 〕
長期借入金の増減額	30,296	8,830
長期借入金の期首残高	9,166	39,462
長期借入金の期末残高	39,462	48,292

(主な増減理由)

銀行借入により、増加いたしました。

その他

該当事項はありません。